



## 島根大学サイエンス・カフェー島根からつなぐ！SDGsー

島根大学サイエンス・カフェ推進チーム  
 (※オープンイノベーション推進本部・小竹、吉田 地域未来協創本部・服部、  
 研究・地方創生部研究推進課)

「島根大学サイエンス・カフェ」は、地域の方々に本学の研究活動に対する理解を深めていただくとともに、大学をより身近に感じていただけるようにすることを目的に平成17年から116回にわたり行って参りました。令和2年度からは「島根大学サイエンス・カフェ-島根からつなぐ！SDGs」としてリニューアルし、SDGsの目標達成に向けて、社会の様々な課題の解決や持続的な発展について参加者と研究者との「対話」と「協働」の場となることを目指して開催しております。

令和5年度も主にオンライン配信により、「祖先からの『血』を継いでいるのは誰なのか？～東アジアの歴史から考える～」、「超音波の世界」～社会インフラの老朽化に挑む～」、「クロレラと共生するミドリゾウリムシを使った安心安全な水質浄化」、「ヤングケアラーを知っていますか?」、「心理療法としての箱庭療法について」、「建築ってなんだろう?～牛乳パックを『建築』にするコツ～診断編」の計6回を開催し(令和6年1月31日時点)、一般市民の方や本学教職員など延べ257名の参加者がありました。いずれの回もSDGsの17の目標に関連した講演テーマとしており、地球規模の課題解決をより身近なこととして捉えていただいたり、地域の皆様に大学で行っている研究や教育について知っていただくよい機会となりました。

島根大学で創出される「知」は、私たちが社会において直面する様々な課題の解決につながると考えられます。「島根大学サイエンス・カフェ」が、課題解決に向けた大学と地域ステークホルダーの皆様との対話を促進する場として発展していくよう、今後も努めて参ります。

